

外出活動 本町事業所 6/23 (火)



本町事業所は“夏を先取りしよう”と元気いっぱい『潮芦屋浜』へ海遊びに行ってきました。
少し曇り空ではありましたが、ビーチに到着すると「わー海やー」と歓声が上がり、笑顔で海に一目散！！潮風を受けながら各々走ったり、石を拾ったり、波を感じてゆっくり歩いたり、飛び跳ねる魚を見たり、ゆったりとした時間を過ごしました。

昼食は社員食堂ですが一般の人でも入店できるとのことで『神戸市中央卸売市場東部市場食堂』へ。お目当ての海鮮丼は売り切れでしたが、刺身定食を注文しボリューム満点の刺身に舌鼓。皆さんあっという間に完食しました。

今から夏本番、たっぷり楽しんだ本町メンバー。これで気合で夏を乗り切るぞ！おー！！帰りの車内は恒例のお昼寝タイム。楽しい一日はあっという間でした。



大原事業所 6/24 (水)・6/25 (木)・7/3 (金)

丹波篠山市にある『篠山チルドレンズミュージアム』に行ってきました。

施設は旧校舎がリノベーションされており、各教室には遊具や展示物があり、学校の雰囲気を感じながら、大人も童心に帰って楽しむことができました。



また、校庭でシャボン玉あそびや自然散策など、それぞれが好きな場所で自由に楽しむことができました。



ランチも学校給食をイメージしたメニューとなっており、懐かしさを感じながらみんなでおいしくいただきました。

この日のメニューは、ごはん・味噌汁・鮭フライとオムレツ・きな粉パン・牛乳でした。



風 後援会からご入会のお願い

社会福祉法人風後援会は、障害者の自立と三田わくわく村の発展を願って平成7年に発足し、寄付活動や理解啓発活動を進めています。

毎年皆様のご入会（ご寄付）により、送迎車両の購入や雨よけ上屋の整備など、利用者の皆さんの活動環境整備を進めています。

今後、一層活動の輪が広がりますよう本会の趣旨にご賛同いただき、ご入会賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、今年度より事業所等のみなさん方にもご支援いただきたく賛助会員の入会をお願いしています。

個人年会費 10 1,000 円
事業所等賛助会費 10 3,000 円 振込先は下表のとおりです

金融機関	支店名	口座番号
ゆうちょ銀行		01110-3-66308
三井住友銀行	三田支店（店番 391）	普通 3808145
三井住友銀行	ウッディタウン出張所（店番 395）	普通 3120072

名義は全て『社会福祉法人風後援会』です

【お問い合わせ】

「風」後援会事務局 三田わくわく村大原事業所内
〒669-1515 三田市大原梅ノ木 1546-5

☎079-564-0909

職員紹介



大原事業所・生活介護
田中理加奈



大原事業所・生活介護
石田和義

5 月からお世話になってます。初めての経験ばかりですが精一杯がんばります。よろしくお願いします

障害者支援の仕事は全く初めてで、しかも 54 歳という遅いデビューとなりましたが、年齢に負ける事なく利用者様と共に成長していきますのでよろしくお願いします。

これからの予定

今年度の一泊研修旅行の予定

大原事業所 ① 9/3 (木) ~9/4 (金) 奈良方面
② 9/17 (木) ~9/18 (金)

志手原事業所 9月~10月 大阪方面

本町事業所 11月上旬 未定

すずかけ事業所 ① 10/15 (木) ~10/16 (金) 奈良方面
② 未定

わくわく通信

発行 社会福祉法人 風

障害福祉サービス（多機能型）

三田わくわく村

〒669-1515 三田市大原 1546-5

(TEL)079-564-0909

(FAX)079-564-8500

(e-mail) sanda.wakuwakumura@giga.ocn.ne.jp

(Hp アドレス) <https://sandawakuwakumura.com/>

笑顔あふれる
交流の一日

事業所交流ハイキングを実施しました

5月22日（金）、毎年恒例となっている事業所交流ハイキングを、有馬富士公園・大芝生広場にて開催しました。前日は大雨、当日の朝も小雨が残りましたが、開始時には雨もすっかり上がり、涼しい気候の中で気持ちよく活動することができました。

今年は、新入所者と新規職員の紹介からスタート。全事業所が一堂に会し、顔を合わせて交流を深める貴重な機会となりました。芝生の上でお弁当を囲んだあとは、いよいよ事業所対抗の運動会が始まり、会場は一気に活気に包まれました。



競技は「運搬リレー」「4 人の絆レース」「玉入れ」「選抜リレー」の 4 種目。利用者の皆さんが主役となり、全員が必ず一つ以上の競技に参加しました。



4 人の絆レース



玉入れ

競技に出していない時間も、仲間を応援したり、他事業所の利用者さんと声を掛け合ったりと、自然と交流が広がっていきました。事業所ごとに競い合う形式だったこともあり、応援の声はどの競技でも大きく、笑顔と拍手が絶えませんでした。



運搬リレー



選抜リレー

令和 7 年度 事業報告

令和 7 年度は、特別支援学校卒業生 6 名を新たに迎え、前年度より 2 名増となる 116 名でスタートしました。その後、入退所があり、年度末の利用者数は 119 名となりました。利用者の皆さまが安心して通所できる環境づくりに努めるとともに、一人ひとりのニーズに応じた支援の充実を図ってまいりました。

事業運営面では、令和 6 年度の報酬改定により生活介護事業の報酬体系が大きく変更され、厳しい経営環境となりましたが、利用率の向上や事業運営の見直しに取り組んだ結果、令和 7 年度は安定した経営状況を確保することができました。

また、志手原事業所では就労移行支援事業を廃止し、就労継続支援 B 型事業に特化した運営へ移行しました。あわせて、すずかけ台事業所の自立訓練事業についても令和 7 年度をもって終了し、今後の利用ニーズや事業の方向性を踏まえた再編を進めています。

生活介護事業は、利用者の障害特性や年齢、支援ニーズに応じた機能分化を進めてまいりました。しかしながら、利用者同士の接触や事故のリスクは依然として課題であり、令和 8 年度は大原事業所とすずかけ台事業所のコンセプトをさらに明確化し、安全性の向上と専門性の高い支援体制の構築に取り組んでまいります。

また、高齢化への対応として準備を進めている共生型サービスについては、令和 8 年秋頃の開設を目指し、引き続き関係機関との調整を進めています。

就労継続支援 B 型事業では、工賃支給方法の見直しや新たな工賃算定方法の導入を行い、利用者の平均工賃月額の向上につなげることができました。今後も工賃向上と働きがいのある活動づくりに取り組んでまいります。

令和 8 年度も、地域に根ざした福祉拠点として、利用者一人ひとりの豊かな生活の実現に向け、より質の高いサービス提供に努めてまいります。

令和 7 年度 決算報告

令和 7 年度決算は、一般企業の営業利益にあたるサービス活動増減差額が 1,746 万 2 千円と昨年度に比べまして 1,298 万 7 千円の大幅な増額となりました。主な要因として、収益においては、大きくは利用者の増加によるもの、また費用においては、主に職員の定年退職や新規採用に伴う人件費の圧縮などによるものであります。このように、令和 7 年度決算は前年度に比べて増収・増益となりました。しかしながら、今般の物価高騰による事業費や人件費等費用については増加傾向が続くと推測されるなか今後については、更なる収益構造の強化が必要となってくることから、社会情勢や利用者ニーズの把握に努め選ばれる施設として、積極的な事業展開を目指してまいります。

令和 7 年度事業活動計算書

(自) 令和 7 年 4 月 1 日 (至) 令和 8 年 3 月 31 日

			R7 年度決算	R6 年度決算	対前年度増減
サービス活動増減の部	収 益	就労支援事業収益	14,502,937	16,464,856	-1,961,919
		障害福祉サービス等事業収益	305,508,352	292,582,308	12,926,044
		経常経費寄付金収益	1,238,200	198,000	1,040,200
		サービス活動収益	321,249,489	309,245,164	12,004,325
	費 用	人件費	207,151,143	211,790,307	-4,639,164
		事業費	35,887,303	33,305,539	2,581,764
		事務費	33,476,028	34,077,999	-601,971
		就労支援事業費用	14,611,989	15,757,458	-1,145,469
		減価償却費	18,774,774	17,632,303	1,142,471
		国庫補助金等特別積立金取崩し額	-6,114,621	-7,794,194	1,679,573
		サービス活動費用計	303,786,616	304,769,412	-982,796
	サービス活動増減差額		17,462,873	4,475,752	12,987,121

保護者会新体制と会長挨拶



この度、保護者会役員の任期満了に伴う改選により会長を務めることになりました。

息子はこちらにお世話になって早いもので 10 年になりますが、これまで保護者会の活動へは一保護者として参加させてもらうのみで、皆様に甘えてばかりでした。

至らぬ点ばかりで自信はありませんが、役員のメンバーで力を合わせて、利用者さん保護者さんと施設との橋渡しの役目を精一杯努めて参りますので、どうか温かいご支援とご協力を宜しくお願い致します。

保護者会会長
若山麻貴

事故防止・虐待防止・身体拘束適正化委員会

令和 4 年から義務化された虐待防止と身体拘束の適正化のための取り組みと法人の事故防止計画に基づき、令和 8 年 6 月 15 日に、虐待防止委員会、事故防止委員会及び身体拘束適正化委員会を開催しました。

虐待防止委員会では、組織全体で虐待予防の取り組みを強化し、利用者の皆様が安心して生活できる環境づくりについて協議しました。令和 7 年度は全職員を対象とした虐待対応力向上研修の実施に加え、日々の支援の振り返りや不適切支援の共有、職員のストレス要因となる労働環境の確認と見直しを実施しました。



事故防止委員会では、令和 7 年度に発生した重大事故（車両事故や感染症、利用者支援事故等）について報告し、再発防止策を検討しました。車両運転ルールの明確化、アンガーマネジメントを含む職員研修を実施してまいります。

身体拘束適正化委員会では、まず、身体拘束の定義や具体例を確認しました。身体拘束はひも等で縛る行為だけでなく、行動の制限や言葉による心理的拘束（スピーチロック）なども含まれます。また、身体拘束の必要性については、利用者の安全を守る際など、「切迫性・非代替性・一時性」の 3 要件を全て満たす緊急時のみ、例外的に認められます。拘束がもたらす心身への影響も考慮し、今後も利用者様の人権と尊厳を尊重した支援を徹底してまいります。



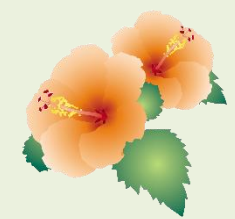
三田わくわく村役員紹介

6 月から新しく、理事 1 名、評議員 2 名が就任されました。わくわく村の運営にお力を貸していただきます。どうぞよろしくお願い致します。



新しく就任された評議員

- ・中村 直人
(兵庫県立有馬富士公園管理事務所 所長)
- ・竹内 雅彦
(兵庫県立上野ヶ原特別支援学校 校長)



新理事 大東 真弓
(社会福祉法人
三田市社会福祉協議会 副会長)